



私の好きなクラシック バロックとロマン派	AAFC 例会資料
	2013/03/31
	担当 : 松井 光隆



①ヘンデル ソナタ ト短調 作品 1-2
 リコーダー ラースロー・ツイドラ
 オルガン ジュジヤ・ペルティシュ
 フンガロン HCD 12375-2

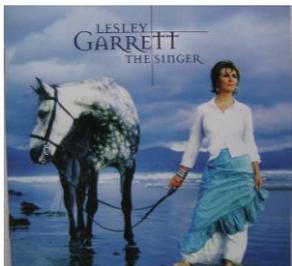
14-第一楽章 ラルゲット 2分11秒
 15-第二楽章 アンダンテ 3分51秒
 16-第三楽章 アダージョ 49秒
 17-第四楽章 プレスト 1分55秒

なんて綺麗なメロディでしょう。ヘンデルの作品は即興演奏を聴く楽しみがあります。フルートの演奏ではペーター・ルーカス・グラーフが好きですが、リコーダーではこの演奏が好きです。この後に、チェンバロ伴奏でナクソスに再録音しましたが、この演奏の方が好きです。



②ヴァネッサ・メイ THE CLASSICAL ALBUM 1 EMI 7243 5 55395 2 6 から
 トラック 16 ジョニーがいなくてがっかり 4分29秒

一番聴いたレコードはカンポーリ(Vn)、ボルト指揮のブルッフ「スコットランド幻想曲」ロンドン盤です。ヴァイオリンの甘い音色とダイナミックなボルト伴奏の素晴らしさ。スコットランド幻想曲は演奏時間が長いので、ヴァネッサ・メイの演奏と編曲です。最初の歌声はメイ自身です。



③レスリー・ギャレット THE SINGER EMI 7243 5 57403 2 8 から
 トラック 2 グリーンスリーブス 4分43秒
 トラック 3 エルサレム 4分29秒

NHK-FM で初めてプロムス(BBC が主催するクラシック音楽の祭典)を聴きました。エルサレムは最後のほうで聴衆も歌います。びっくりしました。なんて楽しいコンサートなのでしょう。今はユーチューブでプロムスを見るのは簡単ですが、昔はカセットテープで何回も聴いたものです。グリーンスリーブスも綺麗な曲ですね。レスリー・ギャレットはイギリス国立歌劇場のソプラノ歌手です。プロムスでのギャレットの演奏はユーチューブで見ることができます。



④ロジーナ・レヴィーン(ピアノ) ジョン・バーネット指揮
 ナショナル・オーケストラ・アソシエーション
 ショパン ピアノ協奏曲 第一番 トラック 1 第一楽章 16分58秒
 コロンビア COCQ-83884

録音した時 81 歳(!)のピアニストの演奏です。ピアニストはジュリアード音楽院の有名な先生です。年齢なんか知らないで、渋谷のタワーレコードの試聴機で聴いたのですが、最初の数小節を聴いてすぐレジへ行きました。1961 年録音で音は良くないし、オーケストラは普通ですが、これは本物の芸術家です。